



栗田だより

挨拶と会話で心を繋ぎ明るく楽しい町づくり!
毎月第2日曜日は「ちょっと一掃き」の日です

第 587 号
発行年月日 2022年4月1日
発行責任者 森田 浩三
編集責任者 横山 実 (10区) 携帯・スマホ
編集委員 米沢 晴男(18区) 村石 節子(2区)
叶 弘子(8区) 志村 美香(13区)
ホームページ <栗田町内会> で検索

会員世帯数 1,323 世帯・会員数 3,266名 (2月末現在)

こ 案 内 と お 知 ら せ

☆第52回通常総会についてのお知らせ

栗田町内会 第52回通常総会を下記の日程で開催すべく資料の編纂など準備を進めています。

「2021年度の事業報告と収支決算」、「2022年度役員」、「2022年度の事業計画と収支予算」等を決める大事な総会ですが、新型コロナウイルス感染症対策で密集を避ける必要があり町内会館での会員参加開催は、今年も見送る事になりました。

4月17日役員会において52回通常総会議案書を確認後4月22日月～28日に総会議案書を会員みなさまに配布する予定です。

その後書面評決(委任状を含め)の集計を経て5月8日(日)第52回通常総会開催予定です。

(総務部)

☆共同募金(赤い羽根)運動のお礼

社会福祉法人神奈川県共同募金会横須賀市支会の平松支会長からお礼状が届いたことを紹介します。

支会長からは、お礼と地区別の結果に加えて、ご協力いただいた募金は、地域福祉推進のための貴重な財源として、神奈川県共同募金会及び横須賀市社会福祉協議会を通じて、市内をはじめ広く県下の児童、障害者、高齢者等の民間社会福祉施設、住民参加型在宅福祉サービス団体、障害者地域作業所、地域訓練会、市内に18地区ある地区社会福祉協議会等へ慎重かつ適切に配分され活用されていることが報告されております。

横須賀市での活用例として「子育てサロンの開催・通学路安全マップ作成・障害者支援施設の車両購入・地域交流会開催等」があります。

また国内で大規模な災害が発生した場合、被災者支援活動のために共同募金が活用されます。被災者支援のための炊き出し活動はじめ、災害ボランティアセンターの設置や避難所の乳児保育活動などがすぐに行えるよう災害等準備金としていざという時にそなえています。

地域の福祉のために今後とも赤い羽根共同募金へのご協力を宜しく願います。

(厚生部)



災害ボランティア支援

障害者支援車両購入

☆子ども会解散で町内会運営に大きな影響

●子ども会の果たしてき役割と経緯

町内会創世期より続いてきた子ども会が解散し活動を終了しました。高齢者向けの福祉団体として緑会が、子供向けの福祉団体として子ども会が、それぞれ役割を担ってきました。歴代の子ども会役員の皆さんの尽力により、今まで何回となく解散の危機を乗り越えてきましたが、現在の子ども会役員の皆さんは1年任期のところを3年間も役員を継続して、子ども会を存続させるために試行錯誤の努力をしてきましたが、入会対象に該当する年齢の保護者から協力が得られず自分たちの代で終止符を打つ結果となり、残念な思いが多く残っていると思います。

町内会としても子供向け福祉と子育て世帯への支援の弱体化に繋がることが目に見えることから大きな痛手となります。しながら、現役員の皆さんが努力に努力を重ねた結果の結論であることから解散の承認をいたしました。今まで活動して頂いた各年度の役員の皆さん、ありがとうございました。難しいことかとは思いますが、子供たちへの福祉等として、いつの日かまた子ども会が復活することを願っています。



●町内会運営への悪影響

子供や青少年を対象にした福祉活動については、先に青少年活動推進の会解散があり、2021年度限りで子ども会が解散したことは、町内にとって、特に子ども会の果たしていた役割は思いのほか大きく、子育て世代との接点も失うことになり、町内会運営において大きな影響を受けることとなります。解散の大きな理由は、子どもたちの面倒を見る保護者として役員を引受ける方がいなくなることが最大の理由ではありますが、この問題は町内会関連団体も含め切実なものとなっています。

●地域活動への参加は自分や家族のため

現状では、町内会組織を運営する役員の殆どが高齢者であり、今後子育て世代の町内会運営への参加が無ければ、増々高齢者中心の町内会となり子育て世代にとっては魅力のない町になっていくでしょう。

地域のための活動は、地域から恩恵を受けることにも繋がりますので、現役世



代や学生の皆さんにもお願いです。他の町内会等では、見聞を広げるため大学生の役員も参加しています。安心・安全で住み易い町づくりのために、一時期の負担を少しずつ引き受けて頂ける方が多くなることを願うばかりです。(副会長)

みんなが楽しい町づくり

☆秋の「赤い羽根共同募金」の町内会一括寄付を総会提案

町内会では北下浦地域の助け合い活動の一環として協力している「春の赤十字募金」と「秋の赤い羽根共同募金」の年2回の募金活動については、会員の皆さんに寄付を募っていますが、その中で班長・理事の大きな負担となっている「秋の赤い羽根共同募金」については町内会で一括寄付することとし、募金業務を軽減したいと考えています。資金は町内会費からの支出とせず、役員活動により得ている市・県広報紙配布の手数料と資源回収活動の奨励金収入を充てます。

赤い羽根共同募金の多くは、私たちの住む地域の福祉活動費や社会福祉団体・社会福祉施設の事業活動費等として使われるため、毎年の募金額に近い40万円(世帯300円/年)程を募金額としています。併せて、募金期間中は町内会館に募金箱を設置し、町内会一括寄付の他に募り合計した額を寄付します。

なお、回収量の減少が続く資源回収奨励金を原資としても使いますので、町内会の収入となり皆さんに還元される資金でもあります毎月の第一木曜日の町内会の資源回収日に新聞・雑誌金属類段ボール・衣類等のリサイクルされる資源(紙類・金属・衣類・蛍光灯等の電球類で、それ以外は不法投棄)を率先して出すようご協力をお願いします。

(町内会)

おしらせ

横須賀市では5歳から11歳を対象とした新型コロナワクチン接種を開始します。

- 1 5歳から11歳用のファイザー社ワクチンを2回接種します。
- 2 回目は、1回目から3週間の隔を空けて接種します。
- 3 接種対象者は5歳から11歳で本市に住民登録がある方(約2.2万人)5歳から11歳の方へ新型コロナワクチン接種は、予防法における「努力義務」の対象とされていません。
- 4 接種券発送時期は令和4年3月4日(金)から順次発送します。なお、これから5歳になる方は誕生日の翌月接種券を発送します。
- 5 接種場所は市内医療機関 約30箇所を予定、接種会場一覧は、市ホームページをご覧ください。
- 6 予約方法は電話またはホームページにて、直接医療機関への予約とします。なお、接種券が届き次第予約できます。
- 7 接種開始時期: 令和4年3月8日(火)から、準備が整った医療機関より順次開始します。

民生局健康部保健所健康づくり課

新入会員 歓迎いたします。

安藤 光 さま (2 区) 2 月 6 日
浦部 浩一 さま (5 区) 2 月 10 日

||||||| お願い、若い世代のお父さん出番です! |||



季節がいちだんと春めいてきましたが新型コロナの猛威は衰えつつあるとはいえ、先が見とおせない状況が続いています。これから町内行事、とりわけ粟田まつり開催の可否を現況において判断するのは難しいところですが、開催に向けた準備だけはしておきたいところです。

ご存知のとおり粟田町内は高齢化が進んでいて、祭りやぐらの設置など高齢化した会員だけでは不安が大きく、また、こども会の解散などで出店等が減少することになります。

たとえ粟田まつりが開催できないとしても、これからの町内会活動全般において若い世代のお父さん達の力を貸してください。町内会員、子供達の笑顔のために、おおいに町内会活動にご参加をお願いします。

参加申し込み、問い合わせは町内会粟田だより担当までお願いします。

||||||| 子供たちを犯罪、事故等から守ろう! |||

"ながら見守り活動"のすすめ。

犯罪や、事故を未然に防ぐ地域の目が重要です。新型コロナ感染症が一段落し、あらたな日常を迎えた今、新入学児童はじめ幼い子供の安全を確かなものになければなりません。そこで注目されている活動をご紹介します。

散歩しながら、掃除しながら、植木の手入れしながらと、さりげない日常の活動をしながら子供達に気を配る活動です。誰でも気負う事なくこの"ながら見守り活動"を実践して子供たちを守りましょう。

粟田だより担当



☆消防団18分団(粟田・野比地区) 団員2名募集中!!



消防団は市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は他の本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別の地方公務員として、<自らの地域は自ら守る>という精神に基づき、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

消防団入団条件:野比・粟田地区に居住、勤務、通学をする18歳~55歳未満の健康な者(R4年4月1日時点)。

連絡先:分団長 石井利治 TEL090-4438-8864
FAX 848-8612

:または粟田町内会会長まで

消防団に関する詳しい情報はWEBで
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/>

町内に住む可愛い家族紹介



10区でYさんと暮らす5歳の雄の亀モランちゃんです。ちょっとお預かりしたまま早2年がたちました。1日の大半は水の中にいるのですが、愛くるしい小さな目で、ご飯とバタバタします。もう少しで元の飼い主に引き取られるのですが、少し寂しい気持ちになる私たち家族です。

応募は右記より投稿
・連絡をお願いします。

町内会館ポスト
連絡先; 担当者携帯電話 090-3802-6511
e-mail ; yokoyama74@jcom.zaq.ne.jp



☆防犯カメラ設置状況の報告他

粟田町内会防犯カメラ1丁目青山付近2月末日に作動、現在3基の防犯カメラが町内で稼働しております。また不審者を見かけたら速やかに通報をお願いします。

横須賀市内において2月中2件「特殊詐欺の電話」がかかってきています。

電話で「お金」の話が出たら詐欺を疑いましょう。

(防犯交通部)

横須賀南警察署 835-0110 横須賀市地域安全課 822-9707

☆第13回定例役員会各部報告

3月16日(日)開催 構成員35名 出席者33名 関連出席者4名

◆ 総務部

- 3月20日の役員会終了後、2022年度新理事役割分担の審議。
- 2021年度各部事業報告と2022年度各部事業計画案の確認をします。
- 4月17日に52回通常総会用資料を審議します。
- 4月22日(金)~28日(木)に52回通常総会用資料を配布予定。
- 4月3日の新理事研修会は中止します。
- 2022年度の町内会行事予定の策定中。

◆ 管理部

- 2022年2月末時点で粟田町内会世帯数は、1,323世帯 3,266人です。

◆ 厚生部

- 今月の資源回収は6,507キログラム奨励予定金額26,000円です。
- 6月移動予定のゴミ輪番制の届けを受け付けました。

◆ 防災部

- 各所の防災倉庫用の鍵の変換をお願いします。

◆ 会計

- 通常総会に向けて、2021年度実行予算の確認と2022年度予算案の整理を実行中。

◆ 子ども会

- 本年度卒業生へ名入りシャープペン贈呈等、子ども会として最後の活動を実施した。

◆ 会長

- 共同募金の理事、班長の活動軽減を考慮する町内会一括化を進めています。事由の詳細はおもて面に記載。
- 3月12日新理事との懇談会実施。

その他のご案内

- 2丁目第4公園の老朽掲示板を撤去した。
- 津久井浜いちご狩100円割引券が北下浦観光協会から発行されています。地区行政センターにて配布中、先着1000名様で4月30日まで有効。

審議事項

- 5月の通常総会は新型コロナ感染状況において密集せざるをえない環境であることから書面評決にて行うことを賛成多数で決定した。
- 「助け合い粟田への助成金交付について」を審議、9万円の助成を決定。
- 2021年度末をもって子ども会が解散し、助成金交付対象団体ではなくなることを承認した。

☆粟田そば打ち同好会会員募集!

粟田そば打ち同好会では若干の会員を募集しています。

興味のある方、又は、自分で打ったそばを食してみたい方等々を募集しますので、是非応募してください。詳細については、粟田そば打ち同好会事務局までお問い合わせください。…… 電話070-3823-2345・本間宛

助け合い粟田活動会員募集!

助け合い粟田の活動に興味のある方、経験や能力を助け合い粟田の活動に役立てて頂ける方は是非、ご一報ください、ご連絡お待ちしております。

助け合い粟田 ☎ 080-1355-7789(大園)
e-mail: tasukeaiawata@outlook.com(千葉)